

ヒルティPS200クイックスキャン使用説明書

1. クイックスキャンについて

クイックスキャンでは、鉄筋の位置と深さをすばやく検知して、壁面にマークを付けることができます。この行程は、クイックスキャン探査機能と呼ばれます。

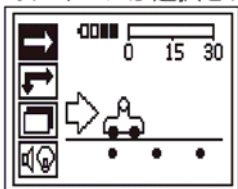
クイックスキャンの拡張機能として、高精度の深さ測定があります。この機能を使用するには、あらかじめ鉄筋径と配筋ピッチを入力する必要があります。

その他にも、データを記録したり、モニターやPCソフトウェアで解析したりすることができます。クイックスキャンでは、鉄筋の平均かぶり厚を、広い表面範囲にわたって簡単に計算することができます。この行程は、クイックスキャン記録機能と呼ばれます。

スキャナーは、探査方向と垂直に配置されている鉄筋のみを検知します。探査方向と平行な鉄筋は検知できません。したがって対象物が水平方向と垂直方向でスキャンできることを確認してください。

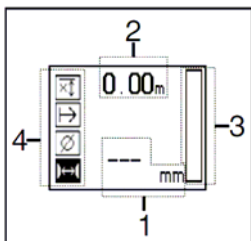
探査方向に対して斜めに配置されている鉄筋の場合は、間違った深さが算出されることがあります。

スキャナーをオンにすると、自動的にクイックスキャンのアイコンが選択されます。



メインメニューでクイックスキャンを選択します。

クイックスキャンの画面が現れます。



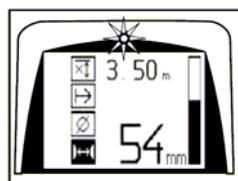
- 1 - かぶり厚
- 2 - 始点からの探査距離
- 3 - シグナル強度
- 4 - 設定: 最小深さ、スキャン方向、鉄筋径、配筋ピッチ

2. クイックスキャンの探査機能

スキャナーを表面にそって動かします。探査方向と垂直に配置されている鉄筋が検知されます。スキャナーの動きにつれて始点からの探査距離が表示されます。

鉄筋に近づくと、シグナル強度が大きくなり、ディスプレイにかぶり厚が表示されます。スキャナーが鉄筋のセンターにある場合:

- 赤のLEDが点灯します
- シグナル音が鳴ります
- シグナル強度のバーが最大になります
- おおよその深さが表示されます
(かぶり厚の最小値 = 鉄筋のセンター)



鉄筋はスキャナーのセンターライン上にあり、壁面にPUA 70 マーカーでマークを付けることができます。測定モードを高精度のかぶり厚測定に切り替えると、かぶり厚の測定精度を上げることができます。その場合3.「クイックスキャンの高精度のかぶり厚測定」を参照してください。

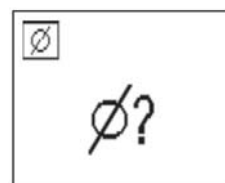
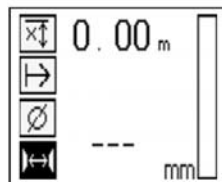


このアイコンがスキャンしている時に現れることがあります。これは、スキャナーの動きが速すぎるため、検知されたすべての信号が処理できないことを示しています。最高速度は0.5 m/sです。クイックスキャン探査中にこのアイコンが現れた場合は、確定ボタンを押して測定をやり直してください。

3. クイックスキャンの高精度のかぶり厚測定

クイックスキャンの高精度のかぶり厚測定モードは、確定ボタンを押して選択します。

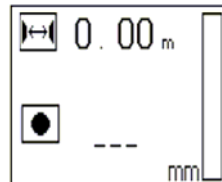
鉄筋径が既知でなければならないので、値を入力してください。



また、配筋ピッチが36 ~ 120 mmの場合は、この値も入力してください。

—注意事項—

配筋ピッチが36 mm以下の場合、測定は行えません。



これは、クイックスキャンの探査機能で自動計算されます。その場合、鉄筋センターが検出されるので、そのセンター位置が表示されたら赤の記録ボタンを押してください。続いてすぐ隣の鉄筋センターが検出されるので、同様に記録ボタンを押します。これにより配筋ピッチが自動計算されて取り込まれます。配筋ピッチが明らか場合は、手動で値を入力することもできます。

注意事項

実技試験では、クイックスキャンの拡張機能と記録機能は使用しません。